

レンガ下地レール材

現在、乾式レンガ工法において主に使用されている レール素材の種類と特性

鋼板 / 特性	耐久性・耐食性	耐アルカリ性・耐アンモニア性
溶融亜鉛メッキ	△	○
ガルバリウム	○	△
ZAM	◎	◎

弊社ではレンガ下地レールに 「高耐久メッキ鋼板（商品名：ZAM®）」を使用しています。

乾式工法で使用されるレンガ下地レールには
「亜鉛メッキ鋼板」や BlueScope 社がライセンスを持つ、
「ガルバリウム鋼板」(*1)があります。

「ガルバリウム鋼板」は屋根や壁にも使用されるほど
サビに強く高寿命、軽くて丈夫な耐震性にも優れたものです。
しかしガルバリウム鋼板は、
強度アルカリ環境での使用では耐久性を発揮しない場合があります。
ガルバリウムの防錆効果はアルカリ度 pH12 以上で消失してしまうのです。

レンガの施工時に使用するモルタル（目地材）の典型的アルカリ度は
12.5 を超える pH 領域とされています。

以上の理由から、BlueScope 社 (*1) は ABC システムにおいて、
ガルバリウムではなく、アルカリ性への耐食性に長ける溶融亜鉛メッキの下地レールを推薦しています。

そこで弊社では、ガルバリウムの強い耐久性と溶融亜鉛メッキの耐アルカリ性を兼ね備える
「高耐久メッキ鋼板（商品名：ZAM®）」を採用しました。

これにより、奥までしっかり目地材を詰め込む事ができるので、
強度アップ、さらに防水性も格段にアップする事が可能となっています。

ZAM® は日新製鋼が世界で初めて工業生産化に成功した
高耐食性の溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金 メッキ鋼板です。

この ZAM とレンガが組み合わさることによって
建物は、強い紫外線や様々な気候・災害から
半永久的に守り続けられるのです。

(*1) BlueScope 社
オーストラリアの鋼材メーカー。
ガルバリウム技術ライセンスの世界的元締めであり、
日本の大手鋼材メーカーをはじめ各国の鋼材メーカーに
ライセンスを与えると同時に
ガルバリウムの技術指導を行っています。
(ガルバリウムはオーストラリア Blue Scope 社ではジンカリウムの商標になっています。)